

三島木経済通信

11月25日

発行所
株式会社FPリサーチパートナーズ
協賛
清の口夜大学
〒213-0001
川崎市高津区溝口3-7-21
044-814-3553

電子版アドレス
fp-research.jp/keizai/1125

「住まい」
「暮らし」
「新発想」

FPリサーチパートナーズ

清の口夜大学
mizu-univ.org

株安・景気悪化の今利回りに上昇

長期で保有できる「有配当」投資がカギ

世界的な株価低迷が続く現在、価格変動の激しい株式投資を止めてしまいう人も多いが、考え方によってはチャンスだ。株式投資は通常株価の値上がりによる「キャピタルゲイン」と保有期間中の配当による「インカムゲイン」から構成される。株価の値上がりは暫く期待できないが、その間資金を放置しておくのはもったいない。長期的にみて優良な投資先を配当を得ながら、値上がりまで保有しておく投資スタイルをとれる人にとっては、実は悪くない相場環境だ。実際に日経平均株価の平均配当利回りは約2.5%と高い水準であり、日本の大手企業の個別株式は3%以上の会社も多い。

高利回りは注意が必要

各国ETFの配当利回り

ブラジル	6.25%
南アフリカ	4.09%
ヨーロッパ	3.54%
マレーシア	2.98%
日本	2.50%
中国	2.45%
台湾	2.39%
アメリカ	2.04%

iShares *ETFより 11月21日現在

しかし、日本だけへの投資は高いリスクを伴うので、可能であれば海外の国ごとに投資できる□□などを活用して分散投資をして行くことが必要。実際に各国の利回りも高い水準であるが、利回りが高いということは、リスクも高いと言える。今回のユーロ問題は非常に根深いものがあり、一層の株価低迷の可能性が十分にある。今が絶対に割安な訳ではないが、将来的に期待出来る国へ長期投資を行うには悪くない。

90歳までの「定期保険」が人気

生命保険の主役は「終身保険」と「定期保険」だが、90歳まで保障をしてくれる定期保険が人気を集めている。従来は長くとも80歳までの保障であったが、90歳まで安い保険料で死亡保障を買えるので人気だ。保障年齢が伸びた背景には医療技術の進歩等による平均余命の高齢化がある。とは言え90歳まで保険料が変わらず保障を確保出来るのは魅力だ。自分に合った保障を割安に備えておきたい。

繰り上げ返済「タイミング」に注意

からタイミングがあまり重要視されていないが、返済額が大きければ大きいほど、注意が必要。仮にローン減税1%、年末残高が3,000万円の場合30万円の所得税控除が受けられる。11月に500万円程の資金があると仮定して、何も考えず繰り上げ返済してしまえば年末残高は2,500万円となり減税は25万円になってしまふ。一方年が明けてから繰り上げ返済を実施すれば、30万円の控除が受けられる。わずかに1ヵ月程度の違いで、大きな差が生まれるので注意して欲しい。



年末残高のイメージ図

住宅ローン減税を受けたい人の繰り上げ返済タイミングはとても重要だ。一般的に住宅ローン減税は年末の借入れ残高に応じて決定される。昨今、無料で1万円でも繰り上げ返済できること

来年の確定申告に備えよう

確定申告関連の書籍が店頭にならんだ。昨今はネットでも手軽に申告出来る為、手書きを使う人が激減している。電子申告でなくても、パソコンで入力し印刷したものを提出できるのでとても便利だ。申告方法は簡単になったが、重要なのは経費・損失に出来るものをしっかり申告することだ。保険などの控除証明書株式の取引報告書、医療費などの領収書、すべて大事なものだ。本格的増税が先送りされる今だからこそ今の内から所得控除などの節税に使えることをしっかり抑えておきたい。医療費などは生計が一であれば同居の親族でなくとも、医療費を合算して申告できるので所得が高い人へ渡してあげることも一つの節税となる。

領収書の整理から

不足する「年金」どう補う?!

公的年金を知って「じぶん年金」を考える

具体的投資は不足金額を知ってから

誰もが不安視する公的年金。将来年金だけでは不足することが想定される今、自分で年金を作る「じぶん年金」が注目だ。自分で年金を作ると言っても様々な方法があり、その選択は難しい。重要なジャッジをするためには、「目標設定」が必要不可欠であり、目標もなく始めた「じぶん年金」は失敗しやすい。まず公的年金がどの程度もらえるのか?これは絶対的、チェック項目だ。将来受給できる年金は給与などにより上下があるが、ねんきんネットを利用して想定額の給与を入力し、年金試算が出来るので是非利用してはどうだろう。仮に将来的に年間360万円は必要であり、公的年金は180万円見込める状況であれば、残りの180万円についての投資を考えていくことになる。預金だけで将来の資金を用意できれば良いがそう簡単に準備はできない。それだけ不足資金が膨大だからだ。少しでも資産を成長させる方法として様々な投資があるが、選択を誤ると、目標の資金には届かないだけでなく、マイナスの運用成果になってしまう場合もある。ただ、損を恐れて投資をしないというのも、預金ではインフレに対応出来ない為一つのリスクだ。じぶん年金は目標を設定してから、具体的商品について考えてもらいたい。

ねんきんネット画面



将来想定される公的年金を試算しておこう

生前贈与が加速、3年以内に注意

配偶者への贈与特例を上手く使う

相続税が増税という事が決まってから生前贈与を行う家庭が増加している。生前贈与には大きく2種類あるが、110万円の基礎控除のある暦年贈与は、相続開始前、3年以内に行われた贈与は相続税の計算に入れることに注意だ。体調が悪くなり、それから生前贈与を行っても意味がないことになる。ただ配偶者への贈与の特例に関しては3年以内でも相続の計算には入れない。20年以上の婚姻期間があれば住宅関連の贈与は2,000万まで可能なので、利用してみてもいい。

ファイナンシャルプランナーの知恵を習得する学校

身につけよう問題解決能力!



詳しくはwebサイトから mizo-univ.org
溝の口夜大学

株式会FPリサーチパートナーズ

暮らしの「困った!」は大丈夫ですか?

- ライフプラン
- 住宅ローン
- 保険見直し
- 資産運用投資
- 相続対策贈与

地元のファイナンシャルプランナー事務所に相談して解決しよう!

詳しくはwebサイトから www.fp-research.jp

☎044-814-3553
 info@fp-research.jp
 川崎市高津区溝口3-7-21 シャテロ高津1F 高津駅徒歩1分